

JASDAQ

銘柄略称: オリコンHD

証券コード: 2498

2019年9月期第2四半期 決算説明会

2019年5月30日

代表取締役社長 野崎 秀則



株式会社

オリエンタルコンサルタンツホールディングス

プレゼンテーション・アウトライン

- I： 当社グループのご紹介
- II： 今回の決算説明会のポイント
- III： 2019年9月期 第2四半期業績・成果ハイライト
- IV： 2019年9月期 通期業績見通し
- V： 質疑応答

I : 当社グループのご紹介



ORICON HD

(1) 当社グループのあゆみ

(株)オリエンタルコンサルタンツを中心に、
着実に成長してまいりました。

1957年	○株式会社オリエンタルコンサルタンツ創立 (道路、鉄道等のコンサルタント事業で発展)
1999年～	○オリコンサルグループを形成 ○株式公開 (現JASDAQ)
2006年～	○オリコンサルグループを継承し、株式会社ACKグループを創立 ○株式会社オリエンタルコンサルタンツの海外事業を大幅に拡大 ○グループとしての価値観を共有できる、さまざまな企業の参画
2018年～	○(株)オリエンタルコンサルタンツホールディングスに社名変更

1957年～



1999年～



2006年～



2018年～



(2)商号変更の目的・理由

■2018年12月25日より、社名を
株式会社オリエンタルコンサルタンツホールディングス
(略称 ORICON HD)に変更

<目的>

- ・グループ全体のブランド力をより一層向上させ、効果的な事業拡大、人材獲得・育成を推進するため

<新商号の設定理由>

- ・顧客、業界、教育機関に対して、ブランドとして認知されやすく、持株会社であることがわかる商号を設定
- ・グループの中核事業会社であるOC、OCGの社名の一部「オリエンタルコンサルタンツ」を冠した商号とすることで、すでに形成されたブランドを活用

(3) 当社グループの提供サービス

国内外の社会インフラを中心に、
企画・提案～計画・設計～建設・監理～運営・保全まで、
多様なサービスを、ワンストップで提供しています。



【イメージ】当社グループが対象とする社会インフラ(抜粋)

(4) グループ会社の紹介

多様な専門技術を保有している6社を中心に運営しています。

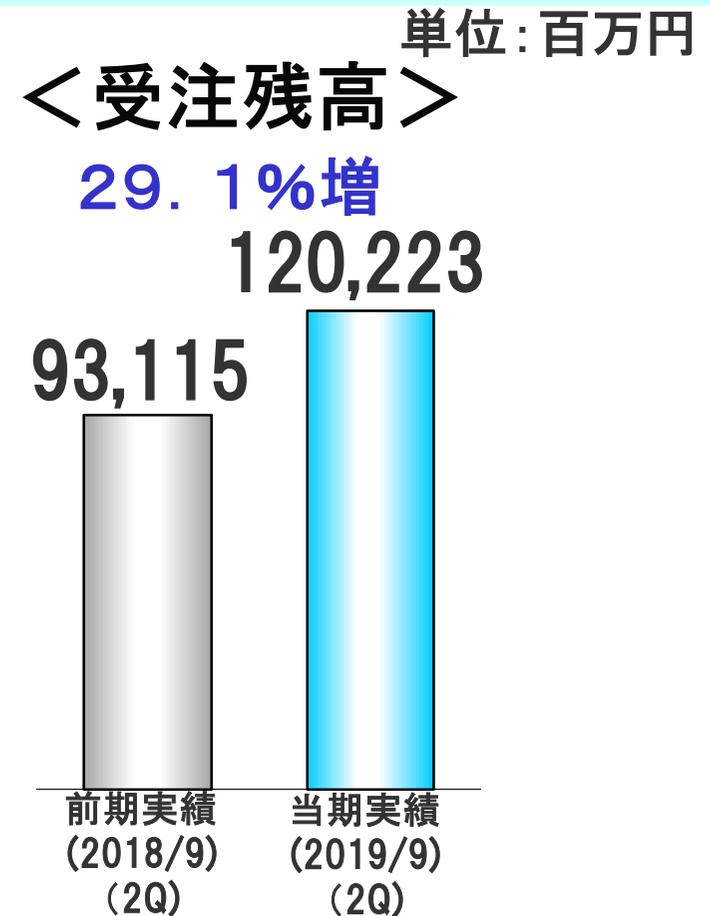
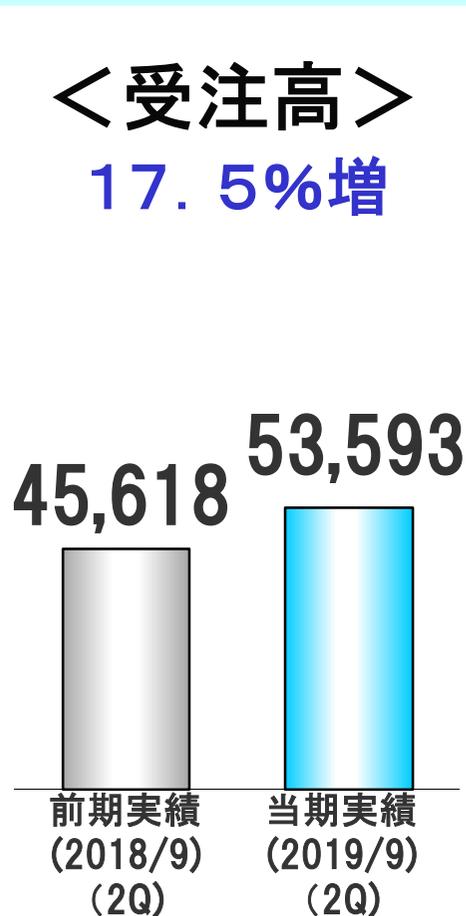
会社名	創立	主な技術サービス・商品
(株)オリエンタルコンサルタンツ	1957年	交通・都市・地域・環境・構造・防災・プロジェクトマネジメント など
(株)オリエンタルコンサルタンツ グローバル	2014年	道路・鉄道・港湾・空港・地域開発 経済及び産業開発計画 など
(株)アサノ大成基礎エンジニアリング	1962年	地質・土質・地盤、調査・構造、さく井、 地下水、建造物解体、施工 など
(株)中央設計技術研究所	1947年	上下水道・廃棄物・環境調査・計画・ 設計・施工管理・維持管理 など
(株)エイテック	1968年	建設・交通に関する調査・設計・監理・ 測量・計器類 など
(株)リサーチアンドソリューション	1978年	ソフトウェア開発・販売、総務・経理、 人材マネジメント など

Ⅱ：今回の決算説明会のポイント



今回の決算説明会のポイント

1 ■ 上期の受注高、受注残高は**過去最高**を更新



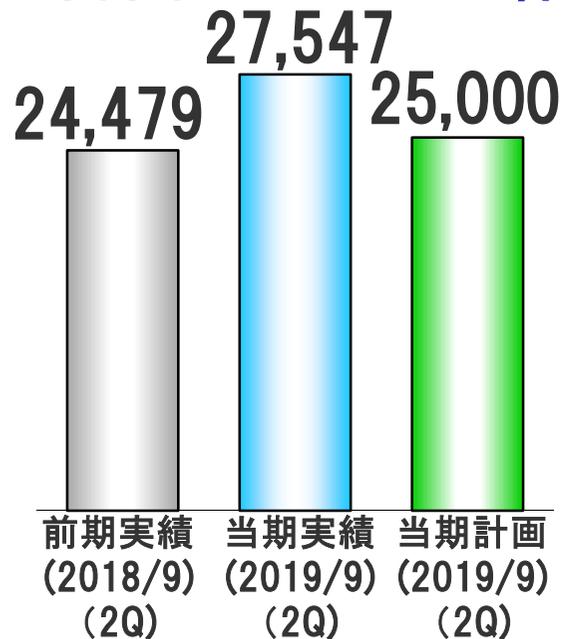
今回の決算説明会のポイント

2 ■ 上期の売上高、利益も**過去最高**を更新

単位：百万円

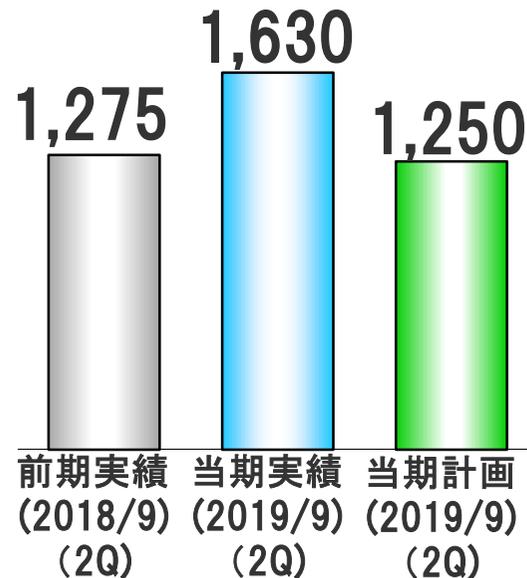
<売上高>

前期比12.5%増
計画比10.2%増



<営業利益>

前期比27.8%増
計画比30.4%増



<純利益>

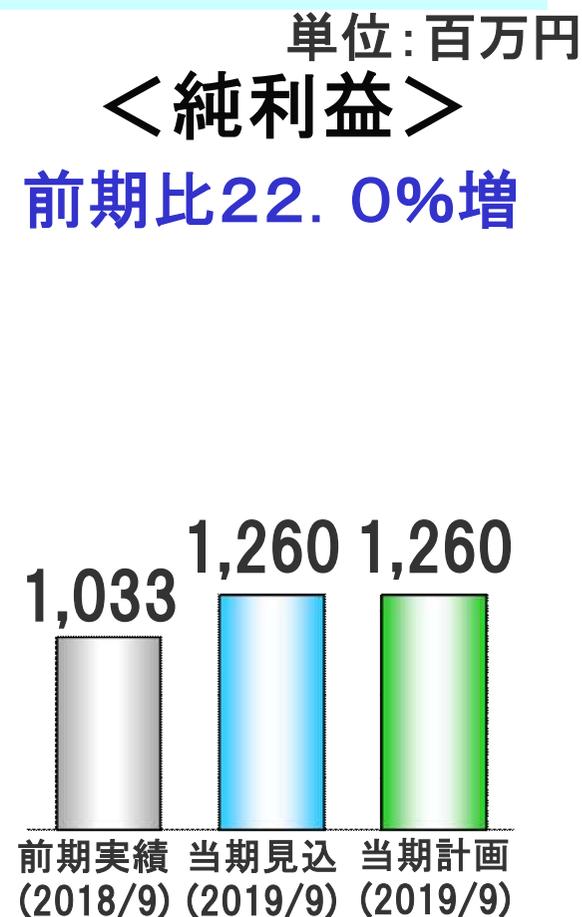
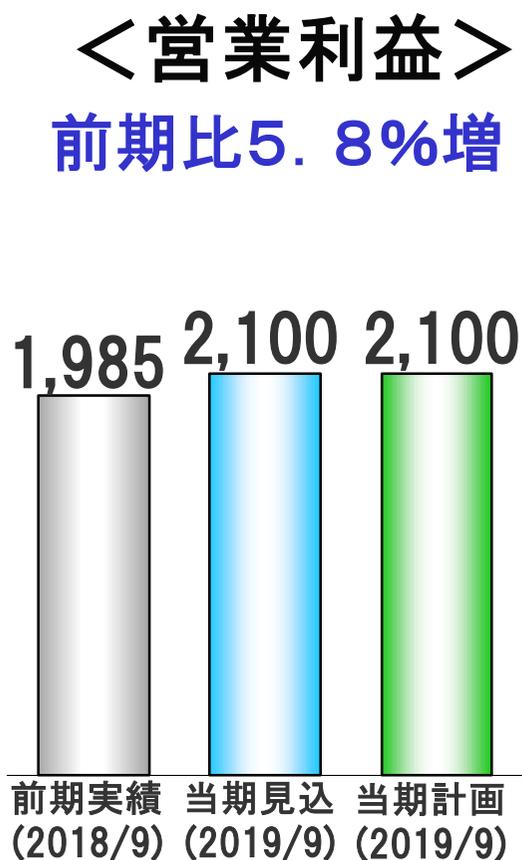
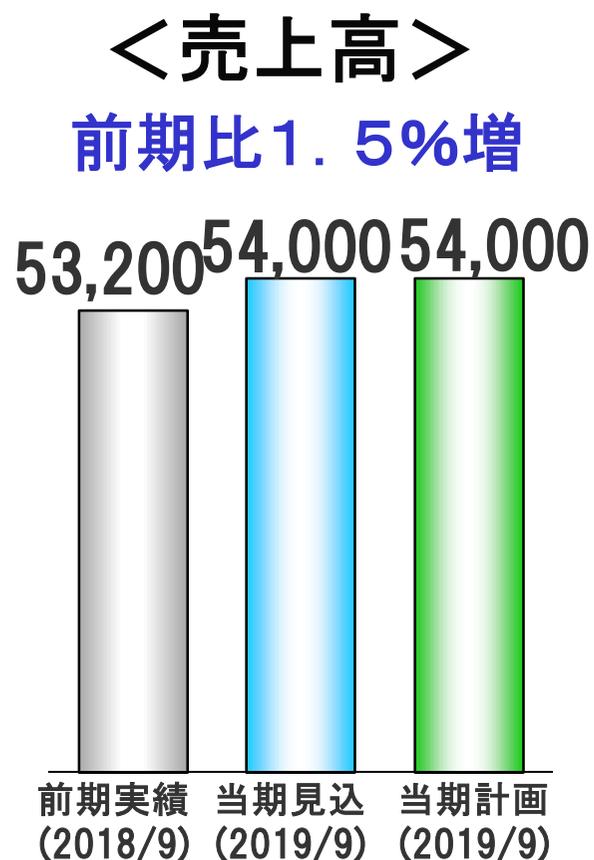
前期比33.8%増
計画比19.0%増



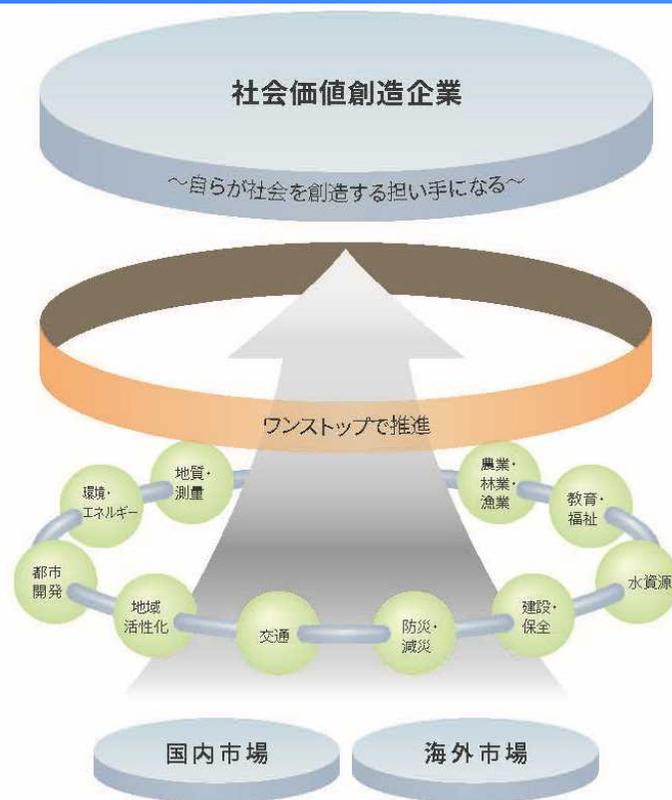
今回の決算説明会のポイント

3

- 通期は、すべての指標で**過去最高**を更新見込
- 8期連続増収増益の見込



Ⅲ：2019年9月期 第2四半期業績・成果ハイライト





**1. 2019年9月期
第2四半期業績**

(1) 連結受注高

■ 前期に比べて約80億円(17.5%)の増加

➤ 受注残高も大幅に増加し、今後の売上に貢献

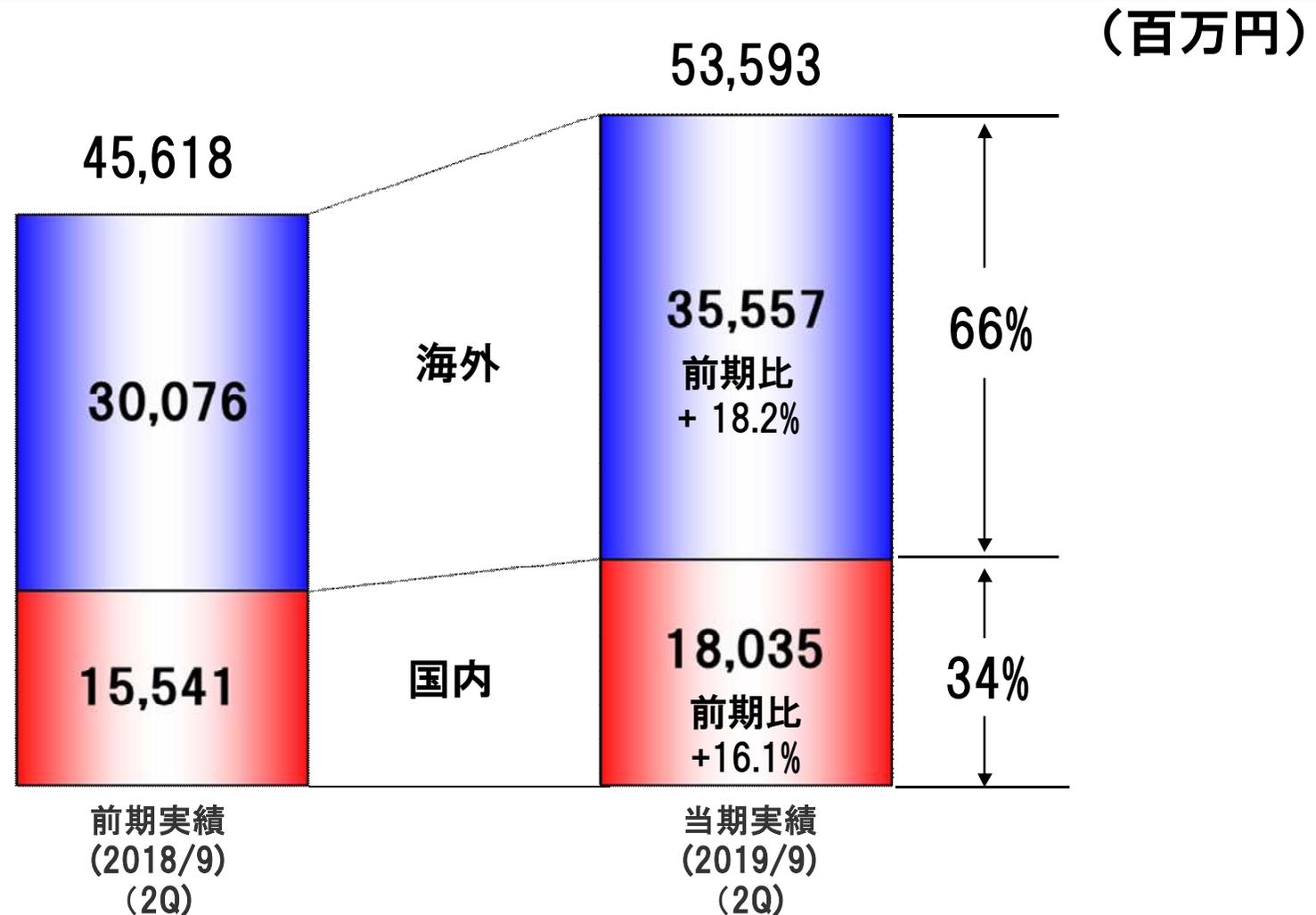
(百万円)

	前期実績 (2018/9(2Q))	当期実績 (2019/9(2Q))	増減	当期計画 (2019/9(2Q))
受注高	45,618	53,593	↑ +7,975 (+17.5%)	—
受注残高 [※]	93,115	120,223	↑ +27,108 (+29.1%)	—

※受注残高: 受注済で売上可能な総額

(2) 連結受注高 国内外市場別

- 国内はインフラ整備・保全、再開発業務、地方創生関連業務が順調
- 海外はフィリピン、インドネシアの大型案件等を受注



(3) 連結売上高、利益

■ 売上高の増加により、営業利益、経常利益、純利益も増加

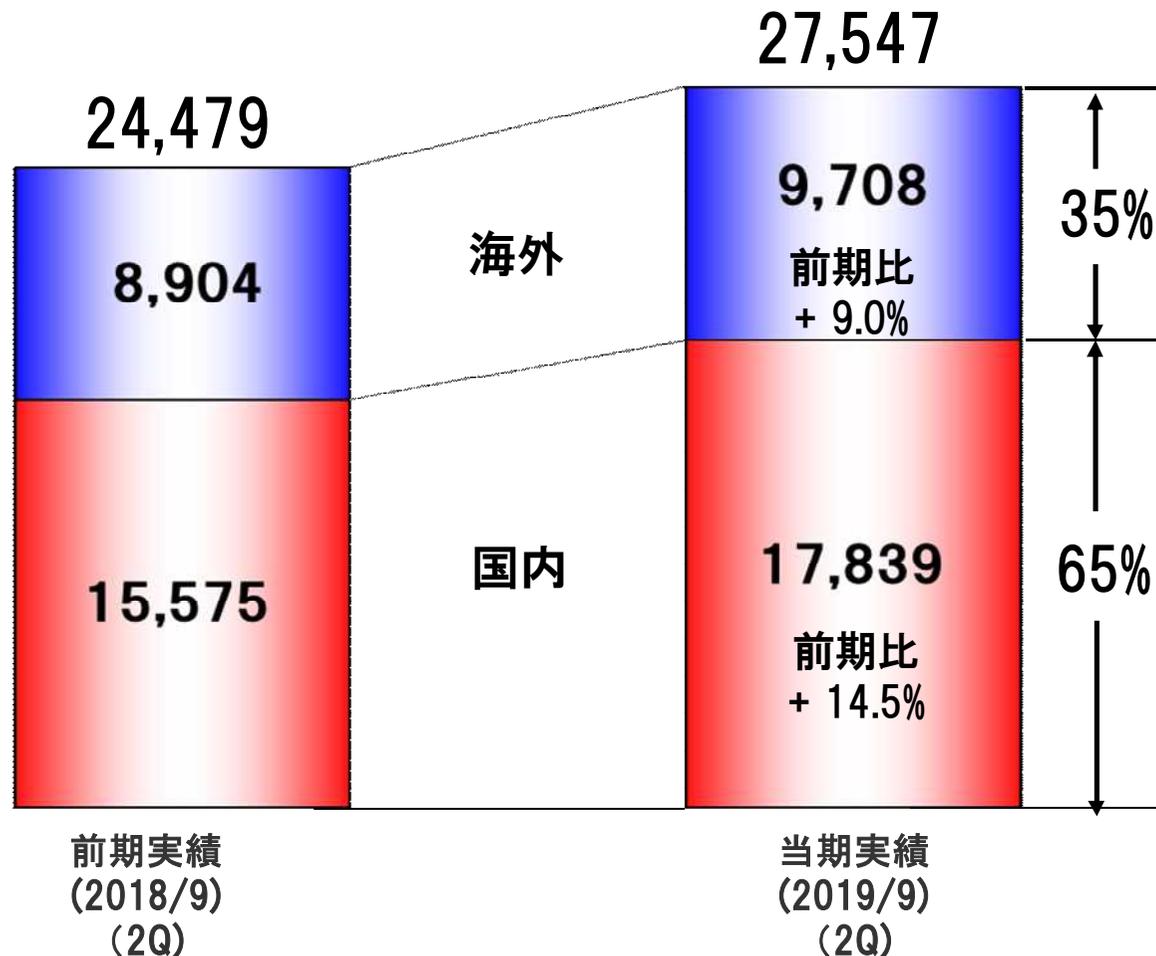
(百万円)

	前期実績 (2018/9(2Q))	当期実績 (2019/9(2Q))	増減	当期計画 (2019/9(2Q))
売上高	24,479	27,547	↑ +3,068 (+12.5%)	25,000
営業利益	1,275	1,630	↑ +355 (+27.8%)	1,250
経常利益	1,115	1,590	↑ +475 (+42.5%)	1,210
当期純利益	675	904	↑ +229 (+33.8%)	760

(4)連結売上高 国内外市場別

- 国内は人員増加、生産効率の改善により早期売上を実現
- 海外は大型受注案件が順調に売上高に寄与

(百万円)

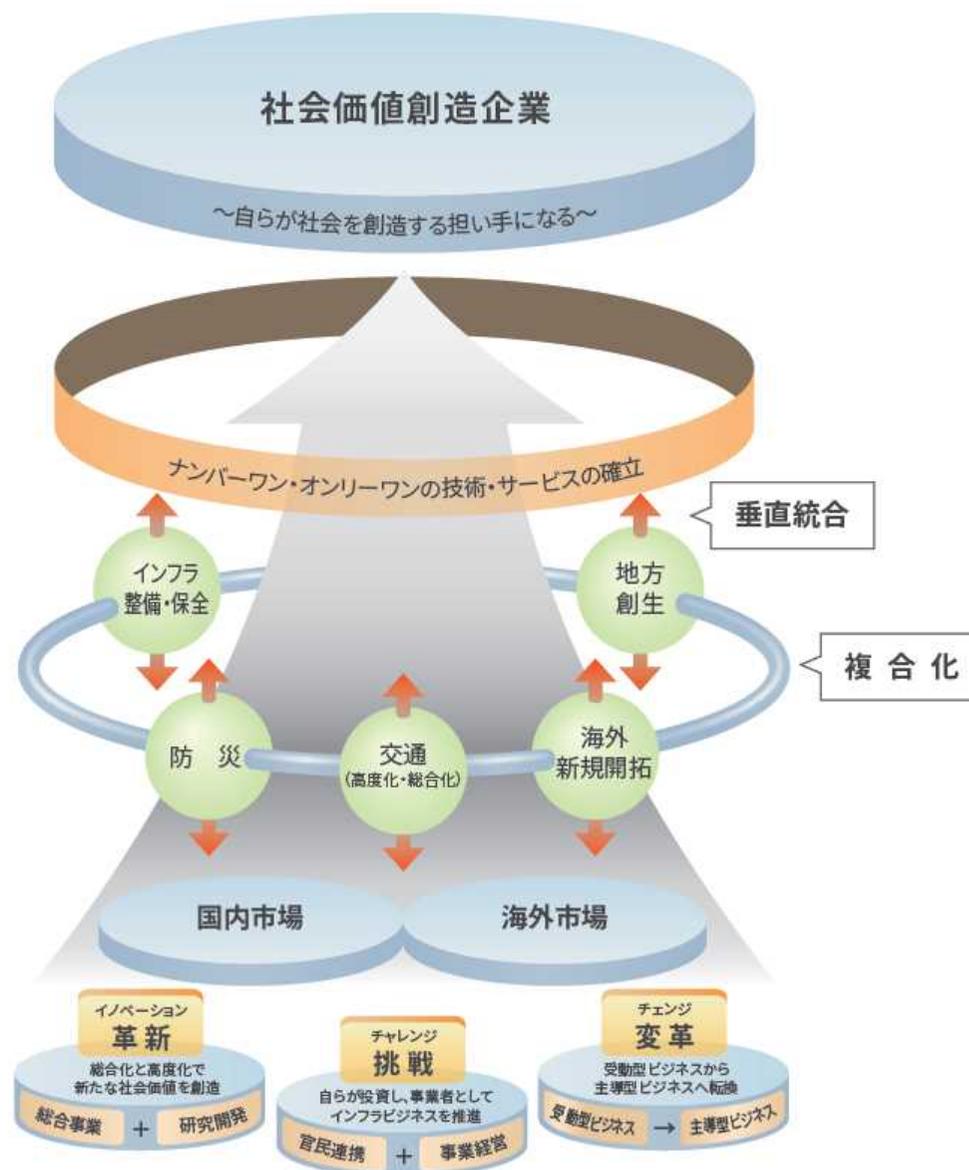


2. 2019年9月期 第2四半期成果ハイライト



(1) 事業創造・拡大に向けた強化方針(個の強化)

- 重点化事業により、ナンバーワン・オンリーワンを確立
- 総合事業、研究開発を推進し、新たな社会価値を創造



(2)重点化事業における事業創造・拡大

■2019年9月期は、109件以上の重点化プロジェクトを実施中

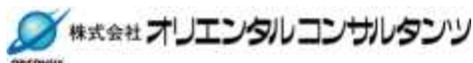
重点化事業		重点化PJ					
		2019年9月期(現時点)			2018年9月期(実績)		
		OCHD	各社	計	OCHD	各社	計
①	インフラ整備・保全	6	27	33	6	21	27
②	防 災	2	15	17	3	16	19
③	交 通(高度化・総合化)	2	14	16	2	9	11
④	地方創生 <ul style="list-style-type: none"> ・再生可能エネルギー/スマートコミュニティ ・地域活性化 ・民間開発 ・事業経営 	3	34	37	2	14	16
⑤	海外新規開拓	6	—	6	5	3	8
合 計		19件	90件	109件	18件	63件	81件

(3)重点化事業(インフラ整備・保全)

<インフラ整備・保全>

■南紀白浜空港の運営に参画(和歌山県)

- ・(株)南紀白浜エアポート様と連携・協働し、空港施設の長寿命化や維持管理の効率化・高度化を推進
- ・また、紀南地域全体における観光客の周遊促進、地域活性化、地域交通の円滑化等に向けた検討を実施



新ターミナルの整備イメージ

■カタール国での舗装性状調査と本邦舗装技術を導入(カタール)

- ・2022年FIFAワールドカップ開催に向けたインフラ整備の一環で、舗装性状調査を実施し、高機能舗装等導入を提案
- ・遮熱性舗装やマンホール補修工法など本邦の舗装技術導入に向け、パイロット導入事業を実施中



舗装性状調査の様子

(4)重点化事業(防災)

<防災>

■豪雨災害に対するソフト対策の総合化を支援(東京都奥多摩町)

- ・(株)ハレックス様と協働し、「土砂災害警戒情報システム※」を奥多摩町様に導入し、住民の避難誘導に関する情報提供を支援
- ・豪雨災害を想定し、奥多摩町様と奥多摩町国民健康保険・奥多摩病院様との情報伝達訓練、同病院における垂直避難訓練を支援



訓練の様子

株式会社 オリエンタルコンサルタンツ

※ ジャパン・レジリエンス・アワード2019で最優秀レジリエンス賞(国土保全・情報分野)受賞

■AIを用いた石礫の自動判読サービスを開発

- ・株式会社スカイマティクス様と協働し、土砂災害防止設計の調査で、安全・迅速に土砂の質(礫・粒径)を把握するための、AIによる自動判読サービスを開発



深層学習によって自動判読した石礫の判別結果の例

株式会社 オリエンタルコンサルタンツ

Research & Solution
株式会社 リサーチ アンド ソリューション

(5)重点化事業(交通(高度化・総合化))

<交通(高度化・総合化)>

■ AIによる乗合タクシー自動配車システム導入の実証実験を実施

(長野県伊那市)

- ・地域公共交通の課題解決に向け、オンデマンドでタクシーを配車するサービスを導入
- ・このサービスにより交通空白地域の減少、利便性の向上、経営の効率化などの効果が期待



使用した乗合タクシー

■ 中山間地域での自動運転に関する実証実験に参画

- ・全国の複数の箇所において、自動運転に関する実証実験の計画策定から運営を支援
- ・中山間地域における公共交通の確保、再生等による地域活性化を目指し交通まちづくりを推進



自動運転の実証実験風景

(6)重点化事業(地方創生)

<地方創生>

■ 地域活性化に向けた事業経営、官民連携(指定管理)を推進

- ・石川県白山市では、「千丈温泉清流」を自主事業として経営
- ・宮城県美里町では、「美里町交流の森・交流館」の指定管理に参画
- ・このような施設を拠点に、
地域活性化に貢献

株式会社 オリエンタルコンサルタンツ
ORICONSUL

人にも自然にも優しい
株式会社 中央設計技術研究所
CHUCU



千丈温泉清流

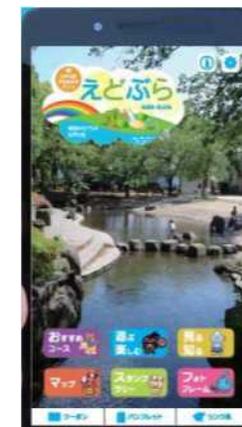


美里町交流の森・交流館

■ 情報配信アプリサービス「ぷらり」を展開

- ・観光やイベントのPRや情報配信のためのアプリ開発を、短時間で出来るプラットフォームサービス
- ・江戸川区の「えどぶら」や福岡県うきは市など複数の自治体や、水族館の公式アプリとして導入

Research & Solution
株式会社リサーチアンドソリューション



えどぶら(江戸川区)



水族館

(7)重点化事業(海外新規開拓)

<海外新規開拓>

■ジャカルタ都市高速鉄道南北線1期事業が開業(インドネシア)

- ・事業の準備調査から入札補助及び施工監理のコンサルティングサービスに参画した15.7kmの第1期事業が開業
- ・今後も、鉄道の運営・維持管理を担うコンサルティングサービスに参画し、本事業の運営維持管理に貢献

株式会社 オリエンタルコンサルタンツグローバル
OC GLOBAL



開通式典

■リオ・ブランコーシウナ間橋梁・国道整備事業を契約(ニカラグア)

- ・老朽化がすすむ4橋梁の架け替えとアクセス道路の整備に向けたコンサルティングサービスを受注
- ・本事業では、詳細設計、施工監理、技術移転を担当
- ・本事業を足掛かりに中南米の一層の事業拡大を推進

株式会社 オリエンタルコンサルタンツグローバル
OC GLOBAL



調印式の様子

■ミャンマー国マンダレー港開発計画を契約(ミャンマー)

- ・水運の交通・物流の効率化を目指し、河川港の接岸施設やターミナルの建設、荷役施設の機械化等の整備に向けたコンサルティングサービスを受注
- ・本事業では、詳細設計、入札補助、施工監理を担当

株式会社 オリエンタルコンサルタンツグローバル
OC GLOBAL



調印式の様子

(8)外部評価

■ ジャパン・レジリエンス・アワード(強靱化大賞)2019で 最優秀レジリエンス賞(国土保全・情報分野)受賞

- ・「土砂災害警戒情報支援システムの開発」が強靱な国づくり等に資する技術開発として認められ、最優秀レジリエンス賞を受賞

株式会社 オリエンタルコンサルタンツ



■ 「2018年度 土木学会デザイン賞 最優秀賞」を受賞

- ・トータルデザイン検討を担当した「高速神奈川7号横浜北線」が、2018年度土木学会デザイン賞 最優秀賞を受賞

株式会社 オリエンタルコンサルタンツ



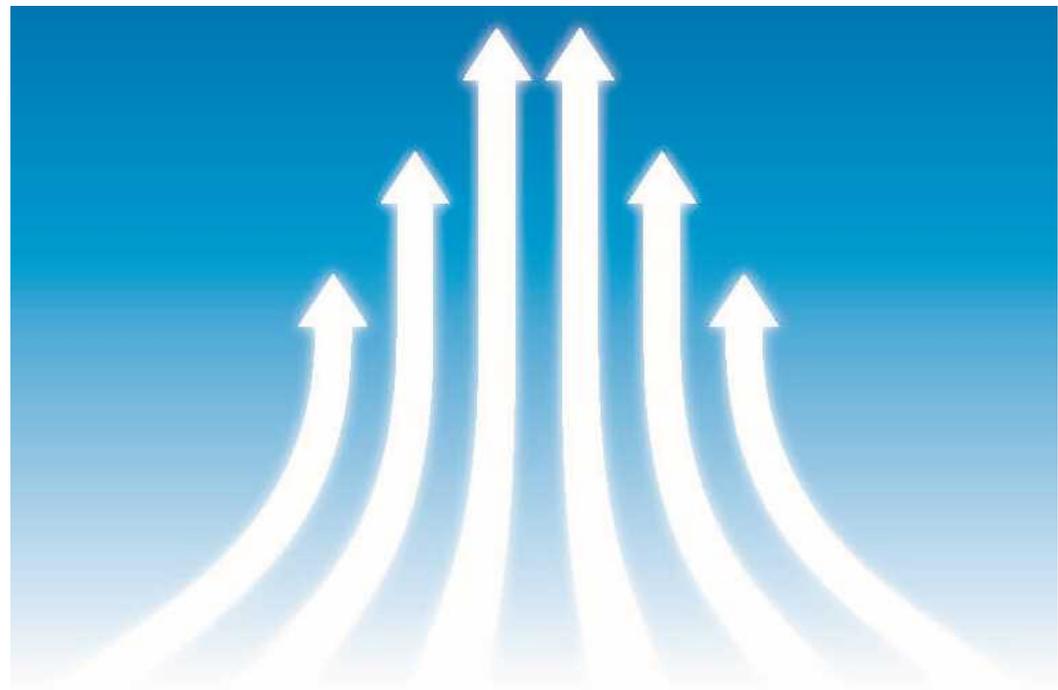
■ ネパール国緊急復興支援事業の実施で感謝状受領

- ・2015年のネパール地震に対し、発生直後より現地に入り、被害状況の調査や復旧・復興計画の策定など継続した支援に対して、ネパール国復興庁より感謝状を受領

株式会社 オリエンタルコンサルタンツグローバル



IV:2019年9月期 通期業績見通し



(1)通期業績見通し

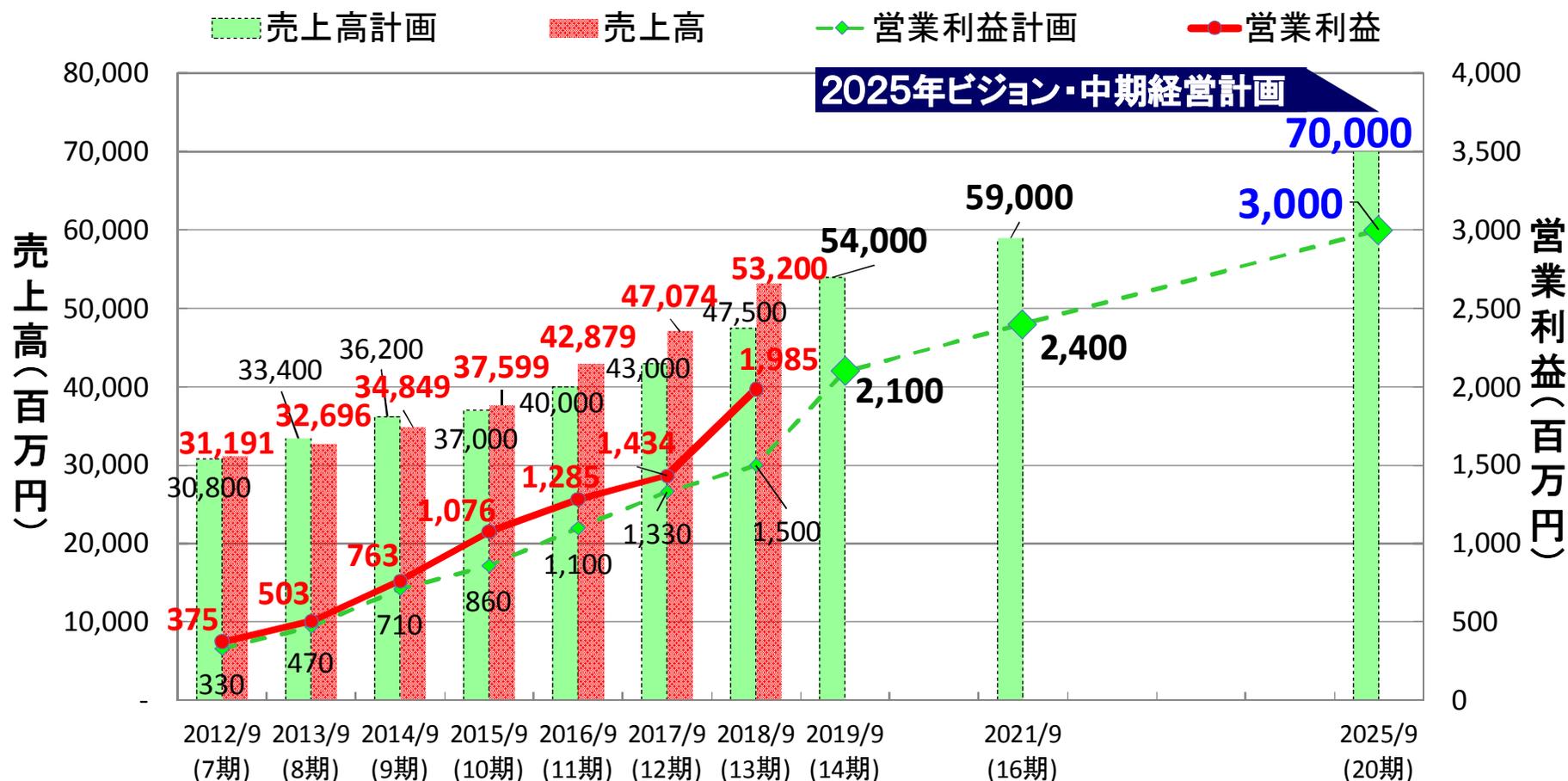
■通期は、当期計画を達成する見通し

(百万円)

	前期実績 (2018/9)	当期見込 (2019/9)	増減	当期計画 (2019/9)
売上高	53,200	54,000	↑ + 800 (+1.5%)	54,000
営業利益	1,985	2,100	↑ + 115 (+5.8%)	2,100
経常利益	1,824	2,030	↑ + 206 (+11.2%)	2,030
当期純利益	1,033	1,260	↑ + 227 (+22.0%)	1,260

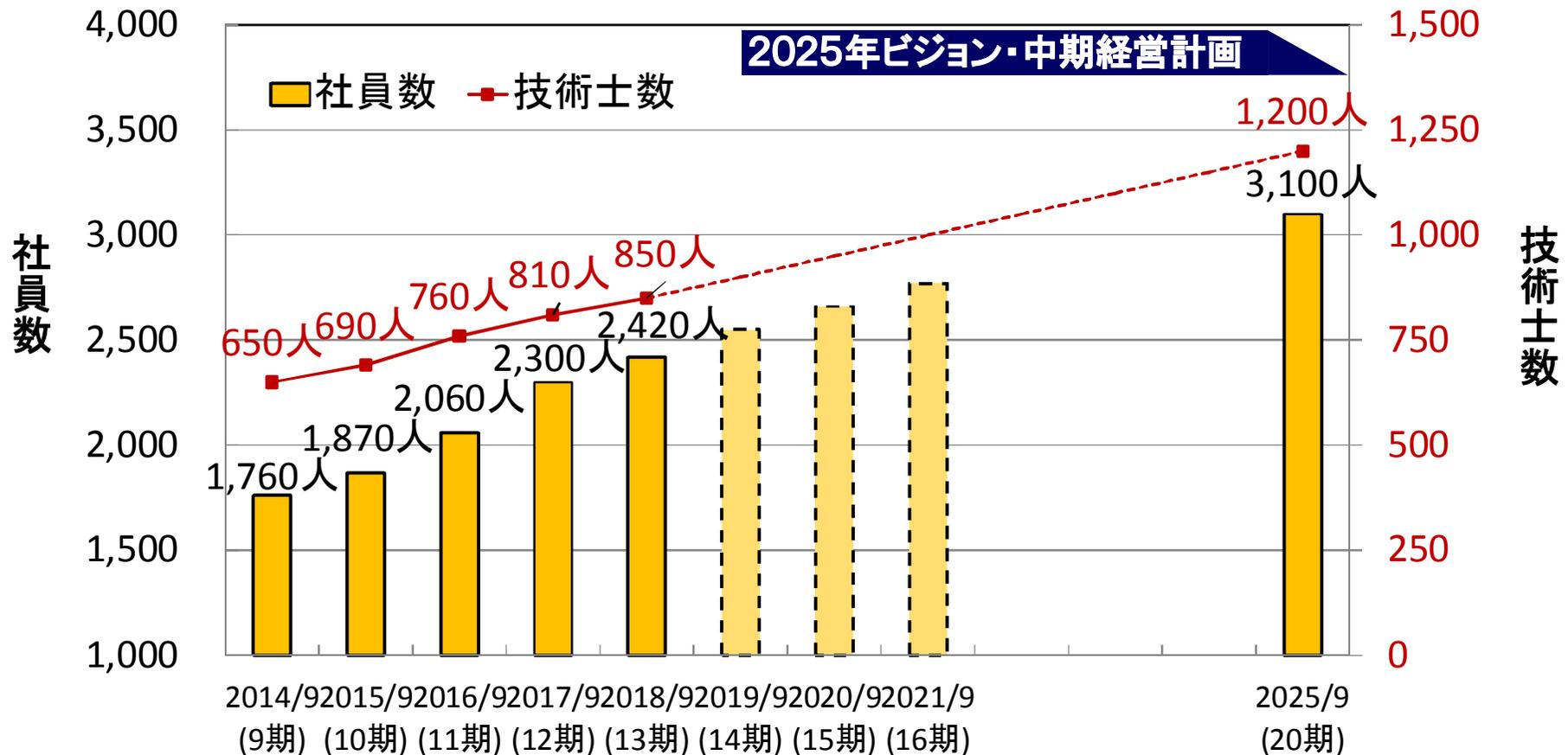
(2)2025年に向けた売上高・営業利益

■2025年9月期には、
売上高700億円、営業利益30億円を目指す



(3)2025年に向けた人材

■2025年9月期には、社員数3,100人以上、
技術士1,200人以上、博士80人以上を目指す



(4)配当方針

- 長期的に安定した利益還元のために、
次の事項を総合的に勘案して配当を決定

過去の連結業績の推移

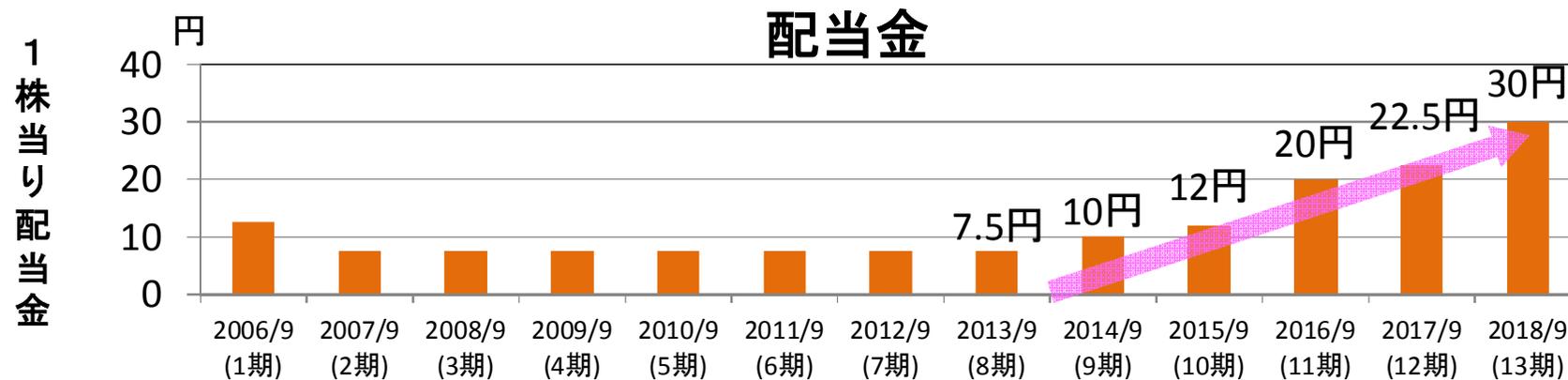
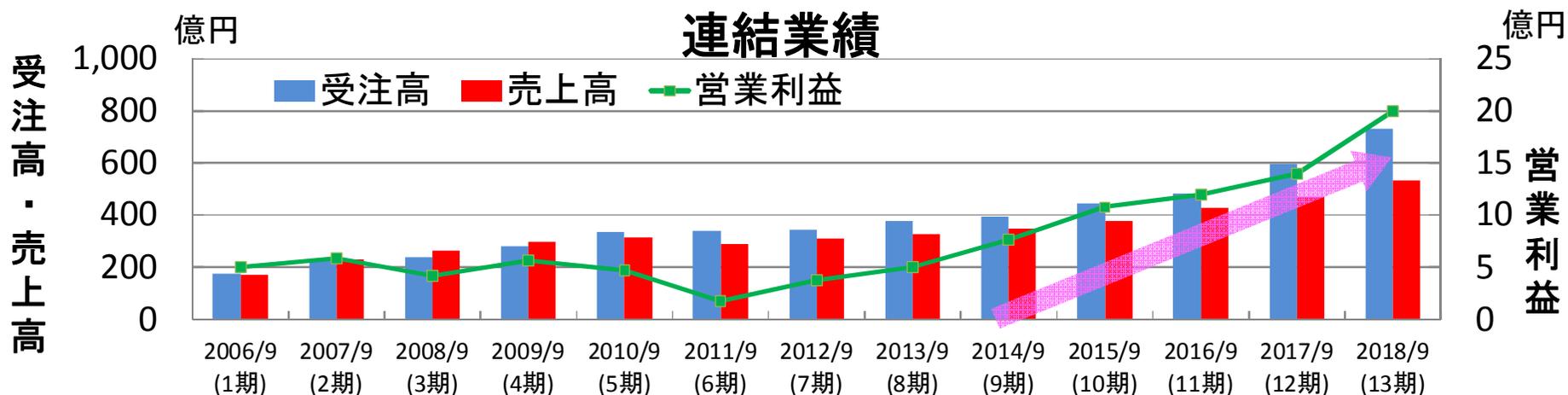
今後の連結業績の見通し

配当性向・配当利回り・自己資本比率等の指標

(5)株主配当

■5期連続増配

■営業利益の増大とともに、配当金も増大



(6) 自己株式の取得

- 機動的な資本政策の遂行のため、自己株式の取得を決定
- 2019年5月より約1年で15万株を取得予定

取得する株式の種類	当社普通株式
取得する株式の総数	15万株(上限)
株式の取得価額の総額	360百万円(上限)
取得する期間	2019年5月16日~2020年5月15日
取得方法	東京証券取引所における 市場買付

2025年。そして、その先の未来へ。

これからも私たちは、『**社会価値創造企業**』として
“**世界の人々の豊かなくらしと夢の創造**”
に**貢献**してまいります。



本資料および本説明会の説明には、当社（連結子会社を含む）の見通し、目標、計画、戦略などの記述が含まれております。これらの記述は、当社が現在入手している情報に基づく判断や仮定に基づいており、将来における当社の実際の業績または展開と異なる可能性があります。

V : 質疑応答



お問い合わせ先

JASDAQ

銘柄略称: オリコンHD

証券コード: 2498



株式会社

オリエンタルコンサルタンツホールディングス

〒151-0071

東京都渋谷区本町3-12-1 住友不動産西新宿ビル6号館

TEL: 03-6311-6641(代) FAX: 03-6311-6642

URL: <https://www.oriconhd.jp/>

(銘柄略称: オリコンHD / 証券コード: 2498)

問合せ 統括本部 森田 信彦

e-mail: ir@oriconhd.jp

本日はご多忙の中、
弊社の決算説明会にご来場いただき、
誠にありがとうございました。



株式会社

オリエンタルコンサルタンツホールディングス

Appendix



(1) 業界での地位①

業界上位10社に当社グループ会社が2社

建設コンサルタント部門売上高ランキング

順位	会社名	売上高 (百万円)	前期比
1	日本工営	50,442	+11.2%
2	パシフィックコンサルタンツ	46,359	+4.6%
3	建設技術研究所	35,108	+3.7%
4	JR東日本コンサルタンツ	21,080	+7.6%
5	オリエンタルコンサルタンツ	21,005	+9.7%
6	八千代エンジニアリング	20,694	+1.4%
7	オリエンタルコンサルタンツグローバル	18,626	+20.3%
8	日水コン	17,868	+3.1%
9	エイト日本技術開発	17,650	+13.9%
10	いであ	17,306	+5.4%



出典：日経コンストラクション(2019. 4. 22)「特集 建設コンサルタント決算ランキング2019」
「建設コンサルタント部門の売上高ランキング」

(2) 業界での地位②

海外市場では当社グループ会社が1位

海外市場(ODA案件+非ODA案件)売上高ランキング

順位	会社名	売上高 (百万円)	前期比
1	オリエンタルコンサルタンツグローバル	18,345	+21.1%
2	日本工営	18,258	+9.1%
3	東電設計	4,874	+12.9%
4	八千代エンジニアリング	3,620	△9.4%
5	TECインターナショナル	2,522	+38.9%
6	国際航業	2,521	+1.9%
7	パシフィックコンサルタンツ	2,198	+64.9%
8	日水コン	1,902	△7.3%
9	セントラルコンサルタント	1,401	+22.4%
10	三祐コンサルタンツ	1,347	△42.6%



参考:日経コンストラクション(2019. 4. 22)「特集 建設コンサルタント決算ランキング2019」
「ODAの売上高ランキング」と「非ODAの売上高ランキング」を合計した値を整理
(どちらかがランキング外の場合は、一方の売上高を表示)

(3)株価

2,000円前後で推移



(4)株主優待制度

2017年6月末より、株主優待制度を導入

優待内容	100株以上 600株未満	クオカード 500円
	600株以上 1,000株未満	クオカード 3,000円
	1,000株以上	クオカード 5,000円

毎年6月末日現在、当社株式1単位(100株)以上を1年以上継続して
保有されている株主様が対象

(5) 指標

	単位	2015/9 (10期)	2016/9 (11期)	2017/9 (12期)	2018/9 (13期)
営業利益率	%	2.9	3.0	3.0	3.7
自己資本純利益率(ROE)	%	7.6	8.9	10.7	11.3
総資産経常利益率(ROA)	%	4.7	4.1	4.8	5.3
自己資本比率	%	28.0	26.6	28.8	24.9
有利子負債	百万円	1,259	1,717	1,319	993